

2011年3月14日

お客様各位

レオス・キャピタルワークス株式会社

### 「ひふみ投信」の3月14日の基準価額下落について

3月11日、東北地方を中心に東日本にマグニチュード9.0という前代未聞の大地震が発生しました。この地震で被災をされた全てのお客様にお見舞い申し上げるとともに、この大地震で愛する方を失われた方に心からお悔やみ申し上げます。

余震も続き、かつ福島原子力発電所の状況が不透明な今、不安な日々を過ごされている方も多いと思います。首都圏を中心に電力も計画停電が予定されており、現在も首都圏の交通が乱れている状況が続いています。このような中、日本の株式市場も地震の影響と原発問題の見極め、さらには計画停電の社会への影響を懸念し、日経平均株価指数、TOPIXも大幅に下落しました。ひふみ投信もその影響を受けて大きく下落しています。本日(3月14日)基準価額が9.04%下落しましたので、ご報告させていただきます。

まだ地震や津波による影響範囲の詳細、全容もおろか被害総額も把握できない今、今後の日本経済への影響も予想し難い状況です。また、原子力発電所の問題も抱えており、今後もさらなる困難が待っていると考えられます。とはいえ、過去に阪神大震災、オウム事件、山一破たん、911事件、リーマンショックなど危機を何度も乗り越えてきた日本は、必ずこの国難を乗り越えて、困難を跳ね返していくと強く信じています。

現在のひふみ投信の運用チームは元気です。私、運用責任者の藤野英人は何度もこのような経験をしてきましたし、全員で5名いる運用チームも意気軒昂です。地震があることを決して予想したわけではありませんが、ひふみ投信のポートフォリオにおける現金の比率も16%とこの3ヶ月間で最大のウェイトにしています。これからさらに下落した場合にも投資をする現金を確保してあります。

結局、どのような時にもやることは一つです。本当に価値のある企業を発掘してその本来の価値よりも割安に投資をすることです。このような天変地異は長期的に見ればそのような企業に投資をするよいタイミングであるとすら言えます。

ひとつひとつのニュースに過敏に反応しそうな相場を敏感に捉え、フレキシブルに、スピーディーに、そして慎重に対応してまいります。

最後に、投資の父と言われるベンジャミン・グレアム氏の投資格言をご紹介します。

「過去 57 年間で振り返れば、世界を揺るがすような時代の浮き沈みや悲惨な出来事にもかかわらず、堅実な投資原則に従えば概して手堅い結果を得られるという事実は、常に変わることがなかった。」

おそらく今なお不安も大きく、また連日のテレビの悲惨な映像に心を痛めている方が多いと思います。どのような環境下であれ、ひふみ投信とその運用チーム、そして私は決してあきらめずに、ベストを尽くしています。これからも必要に応じて運用状況をご報告いたします。

みなさまの健康と安全をなによりもお祈り申し上げます。これからもひふみ投信をよろしくご願ひ申し上げます。

レオス・キャピタルワークス株式会社  
ひふみ投信運用責任者  
藤野 英人

◆「ひふみ投信」に係るリスクについて

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります(株価変動リスク)。外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります(為替変動リスクとカントリーリスク)。したがって、お客様(受益者)の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。この他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

◆お客様の負担となる費用について

◇お客様に直接ご負担いただく費用 : ありません

申込手数料・換金(解約)手数料・信託財産留保額 は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用 : 次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.029%(税抜年0.980%)
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.00525%(税抜年0.005%)
その他の費用	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料(それにかかる消費税) 先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用 租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※ 「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

- ・ 本資料は、レオス・キャピタルワークス(以下「当社」といいます。)が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません
- ・ 本資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・ 本資料に掲載されている市場見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。
- ・ 投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

レオス・キャピタルワークス株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第1151号

加入協会: 社団法人投資信託協会

社団法人日本証券投資顧問業協会